

# はなわ 議会だより

2018  
No.143

発行/福島県 塙町 議会  
平成30年7月20日



ちびっこ消防隊(幼年消防クラブ)  
笹原幼稚園

## 6月定例会

- 竹活用施設設置など …… P 2～3
- 町政を問う(一般質問)…… P 4～12
- 旧常豊小の一部を体育施設へ(5月臨時会)… P 14
- 議員定数アンケート結果 …… P 18



塙町議会ホームページ  
QR



塙町議会フェイスブック  
QR



塙町議会ツイッター  
QR

# 竹活用の交流施設を設置

## 竹粉農法普及と 交流人口増加を目指す



6月  
の  
会  
の  
あ  
ら  
ま  
し  
定

### 埴町竹活用交流施設設置条例

地方創生施設拠点整備事業により旧こんにやく試験地の建物を改修し、竹活用の農業利用促進、普及啓発を図る施設を新たに整備した。

**Q** 使用料減免は別に定めるとあるが、規則はいつ作成するのか。  
**A** これから定めて施設の有効活用をしていきたい。

**Q** 調整室と加工場の使用用途は何か。  
**A** 調整室Aは水が使える、調整室Bは水が使える、その場で野菜を洗うなどの要望に応える。加工場とは、ガスが使用可能な調理施設で、農家との交流ができる。

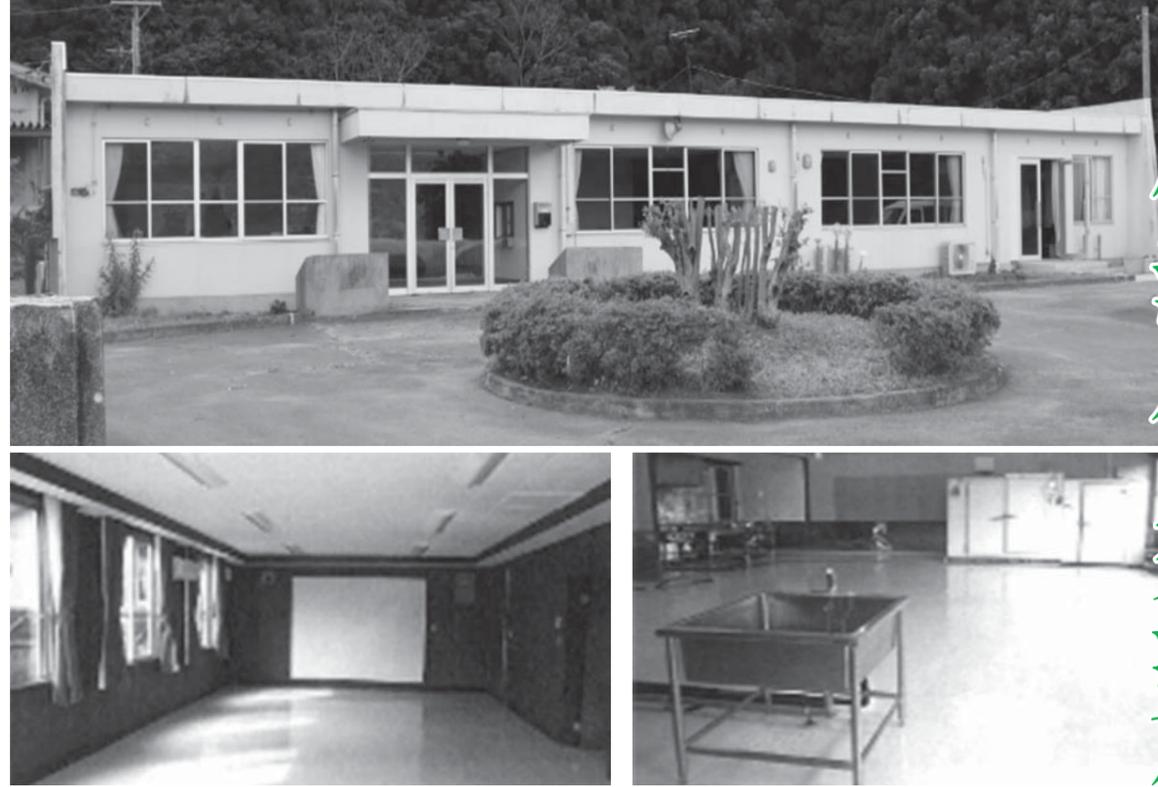
**Q** 使用料免除における「公益上」とは何か。  
**A** 通常の一般的な利用でなく、竹パウダーを使用した農法体験や都市部との交流人口増加体験ツアーを想定している。

**Q** 施設の場所  
埴町大字台宿字北原45番地

6月定例会は、6月7日(木)から11日(月)までの5日間の会期で開催しました。

条例関係2件(竹活用交流施設設置条例の制定、国民健康保険税条例の一部改正)、平成29年度からの予算繰越報告3件、補正予算3件が上程され、いずれも原案どおり可決しました。また最終日に追加で町道の認定1件、人権擁護委員候補者の推薦1件が提出され、こちらも原案どおり可決しました。

一般質問は9人が町政全般の問題をたどりました。



会議スペース 施設正面 ガスや水が使える加工場

### 国民健康保険税条例の一部改正

個人の所得額が確定した事に伴う改正で、今回から資産割額が廃止された。税負担は医療費増加、被保険者数の減少と、国保基金から繰り入れにより昨年度とほぼ同水準となった。



(反対討論) 高縁 光議員

今回の改正は、昨年度の国保税を大幅に引き下げ町民から歓迎された中で、残念ながら今年の結果的に増税となる。補正予算では約3000万円もの取り崩しをし、国保の引き上げ抑制を行っていくことは評価したいが、町民から見れば負担増であり反対する。



(賛成討論) 吉田 広明議員

1950年には、1人の高齢者を12・1人の現役世代が支えていたが、2012年の段階では、2・6人で支え、2060年には、1・3人で支える不安定な構図となる。少子高齢化で医療費が膨張する一方、保険料収入が伸びなければならず、収入負担比例の「所得割額」になればと思うが、本来この議論は国政で進めて欲しい。現段階では、日本の「国民皆保険制度」の中に組み込まれており、反対することは出来ない。

<賛成 12 反対 1 (高縁議員) で可決 ※議長は採決に参加しない>

### モデル世帯から見る国保税負担

<ケース>

- 夫 45歳 (世帯主※サラリーマン) 給与収入：300万円 (所得 192万円)
- 妻 42歳 (専業主婦)
- 子 18歳 (高校生)

※固定資産税額：8万円

	平成30年度	平成29年度	比較
税額	298,725円	297,563円	1,162円増

### 一般会計補正予算1億6261万円追加

- 【主な事業】
- ふくしま森林再生事業委託料 1億3000万円
  - 平成29年度中に計画から同意取得が完了しなかった森林施業分の増額 1000万円
  - 地方公共団体実行計画事務事業編成定業務委託料 地球温暖化対策(CO<sub>2</sub>削減)に即した埴町独自の計画を策定する。(委託料は全額補助。)

**Q** 公共用財産施設として管理について議会の承認が必要ではないか。  
**A** 指定管理の場合には議会の承認が必要であるが、コミュニティプラザは指定管理できる施設ではないため、通常の場合管理委託で行っている。

**Q** WIIの通信利用関係を文書広報費として計上するのは適切か。  
**A** 企画情報係で一括契約しており、図書館ではあるが管理は総務課である。

**Q** あぶくま高原美術館はいつまで維持しなければいけないのか。  
**A** 平成15年に国の交付金を受けているため、平成39年度まで。

**Q** 柱の腐食を今回計上しているが、床など別の場所も傷んでいる事も想定されるので、今後どのような対策を考えているか。  
**A** 平成29年度予算で実施した工事中に、新たに今回の腐食が発見されたため緊急に予算計上をした。(全員賛成で可決)

### 議案の審議結果

議案番号	議案内容	審議結果
議案第40号	埴町竹活用交流施設設置条例の制定	大字台宿地内に設置した施設関連の条例新設
議案第41号	埴町国民健康保険税条例の一部改正	個人所得額確定による按分率の見直し
議案第42号	平成30年度埴町一般会計補正予算(第1号)	ふくしま森林再生事業委託料など(1億6,261万円)
議案第43号	平成30年度埴町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	按分率見直しによる補正(▲1,258万円)
議案第44号	平成30年度埴町農業集落排水処理事業特別会計補正予算(第1号)	稲沢地内の管路・公共升設置工事費(270万円)
議案第45号	町道の路線認定	大字伊香地内に県道矢祭山八槻線と接続する新路線

原案可決

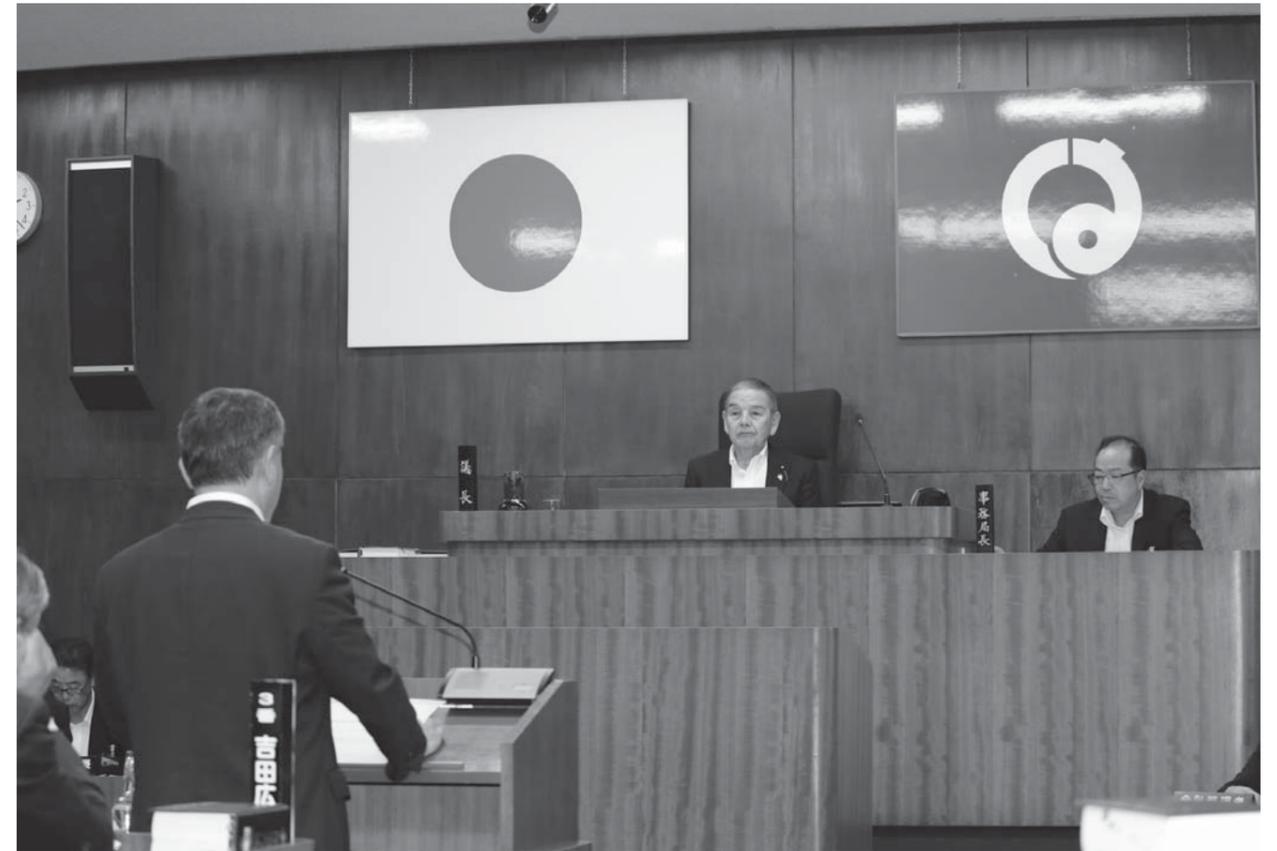
### 人事

人権擁護委員に  
七宮 昭子氏 (再任)  
を全会一致で同意



任期は平成30年10月1日から平成33年9月30日まで

# 一般質問 町政を問う



議員名	質問事項	ページ
鈴木 安次	・町と議会の関係性 ・行財政改革の進捗状況 ・すぎのこ園受け入れ先	5
鈴木 茂	・監査結果への対応 ・町の観光力アップ施策	6
吉田 広明	・紙おむつ等支援事業の実施 ・高齢者向けシェアハウス開設 ・軽費老人ホームの検討	7
七宮 広樹	・充実した学童保育施設計画 ・旧常豊小跡地利活用 ・交流人口の増加施策 ・商店街活性化	8
吉田 克則	・町長施政方針の実行 ・旧常豊小跡地の財産管理 ・町の収納施策 ・モニタリングポスト関連	9
下重 義人	・小中学生の不登校問題 ・指定緊急避難場所 ・町の公用車安全対策 ・過去の一般質問を再質問	10
高縁 光	・入札参加名簿の改定 ・高齢者向けリフォーム補助 ・ゴミ収集施設整備	11
青砥 與藏	・町行財政の諸課題 ・介護施設設置 ・過去の一般質問を再質問	12

**一般質問とは**  
 議会は、住民の皆さんに代わって町の行財政の運営を監視する役割があります。一般質問は、その議会を構成する議員に与えられた権利です。町の事務の執行状況や町の将来への考え方について、報告や説明を町長に求めます。議会だよりに掲載している一般質問は、一般質問議員自らが作成し掲載しています。その他小林議員が質問しています。

町の考えを問う  
**町執行機関と議会との関係をどのように考えているのか**

## 通告に無いので答弁できない



鈴木 安次 議員

障害者も受け入れるこども園でなければならぬ

**質問** 陳情に一部議員の同席を制限したことはあるか。  
**答弁** ない。  
**質問** 発言者と担当課長が制限したことを認めめたが。  
**答弁** 二度とないよう指導する。  
**質問** 町のコンプライアンス対策は。  
**答弁** 今回の事を良い教訓とする。  
**質問** コンプライアンス対策委員会を立ち上げるのか。  
**答弁** もっと充実したものにしていこう。  
**質問** 企業に情報を提供する担当職員は。

**答弁** まち振興課長補佐に兼任させる。  
**質問** 旧常豊小学校を教育委員会の事務所にできないか。  
**答弁** 今のところ移動する考えはないが検討する。

## すぎのこ園をなぜ最初から受け入れられないのか



埴幼稚園併設のすぎのこ園

**質問** 多世代との交流の場は設置されているのか。  
**答弁** 子育て支援エリアで子供とお年寄りがともに交流できるよう今後検討する。

**質問** 植栽エリアにフェンスが設置されていないが安全性は。  
**答弁** 飛び出し防止の防護柵は設置する。

**質問** 時間をかけて安全対策をすべきでは。  
**答弁** 時間をかけて安全対策をすべきでは。

## 検討したが入る余地がない

**質問** 今後検討する。  
**答弁** 安全に対する担当課同士の話し合いは行われた。  
**質問** すぎのこ園をなぜ最初から受け入れられないのか。  
**答弁** 検討をしたが入る余地がない。重要性は認識している。

**質問** 安全に対する担当課同士の話し合いは行われた。  
**答弁** これまでの検討委員会で話し合いは行われた。  
**質問** すぎのこ園をなぜ最初から受け入れられないのか。  
**答弁** 検討をしたが入る余地がない。重要性は認識している。

## 行財政改革推進本部の進捗状況は諸課題が発生し遅れている

**質問** 義務的経費の見直し検討結果は。  
**答弁** 前年踏襲的な計上はしないよう指示した。  
**質問** 行財政推進本部を設置し「大綱・プログラム」を策定するとしたが進捗状況は。  
**答弁** 諸課題が発生し遅れている。パブリックコメントを行い、広く意見をいただく。  
**質問** 作業工程はどのようになっているのか。  
**答弁** 12月議会にはお示しする。

**質問** なぜ受け入れる部屋を確保できないのか。  
**答弁** 別な福祉施設なので当初から受け入れる事を想定していない。  
**質問** すぎのこ園をこども園に受け入れて幼稚園の取り壊しも視野に入れるべきではないか。存続させる経費はどこが負担するのか。  
**答弁** 検討段階だが埴小学校の学童保育も含めて有効活用する。



よしだ ひろあき 吉田 広明 議員

少子高齢化に待ったなし

町の考えを問う

## 乳幼児への紙おむつ等支援事業の実施は平成31年度から行う

**質問** 少子化の中で標準的なサービスに近づけてきている。埴町の幼児対象は120名で、棚倉町と同額の月額2500円程度を支給すると年額360万円となるが、何故、今まで取り組まなかったのか。「産み育てる」環境整備にもはや躊躇している余裕はない。

**答弁** 前向きに検討している。子育て世代応援ポイント事業で実施する。財政負担が伴うので振興計画に載せ、平成三十一年度当初予算に計上し実施して行きたい。

## 冬季間の高齢者向けシェアハウス開設の考えは湯遊ランド「多目的施設」を検討する

**質問** 第7期高齢者福祉計画の中で、「安全で快適な生活の保護」、「一人暮らしの高齢者が冬季間に比較的に元気ではあるが、健康状態に不安を感じる方々に向けて、シェアハウスの検討」とある。数ヶ月後には冬になる。前回も提案した湯遊ランド「多目的施設」の検討をしているのか。

**答弁** 昨年度、「埴町生活支援体制整備推進協議会」を立ち上げた。この協議会を核として、高齢者の聞き取り調査を実施し、湯遊ランド「多目的施設」の一部を転用して、福祉目的で利用することを是非検討してみたい。

**質問** 総務省・家計調査の中で、独居老人や高齢夫婦・無職世帯の平均的な毎月の暮らしは大変である。平成20年厚生労働省の指針も出ているが、矢祭町のような低額で入れる老人ホーム施設の検討はあるのか。

**答弁** (健康福祉課長) 矢祭町では、「軽費老人ホーム」として、平成30年秋に開所予定である。目的は、山間部に住む高齢者の食事及び、移動手段不足の解消である。入所対象者は自立支援・介護2まで、定員は30名。運営は「社会福祉法人矢祭福祉会」が行う。

**答弁** (町長) 当該施設を興味深く見ている。



軽費老人ホームケアハウスせせらぎ荘 (矢祭町)

「軽費老人ホーム」施設を検討していく考えは矢祭町の施設を興味深く見ている

町の考えを問う

## 監査結果にどう対応 真摯に受け止め全力で改善する



すずき しげる 鈴木 茂 議員

町当局は監査委員の指摘に対し、「糠に釘」でなく、きちんと対応しなければならない

**質問** なぜ追加の監査を行ったのか。

**答弁** (監査委員) 町にとって、重要な施設である湯遊ランドと道の駅を抽出して行った。

**質問** 監査委員の指摘をどのように認識しているのか。

**答弁** 指摘を真摯に受け止めている。全力で改善していきたい。

**質問** 湯遊ランドの自助努力による収支改善と経費節減の甘さについてどう考えるか。

**答弁** 従業員の意識改革と電気料金の削減に取り組んでいる。

**質問** 道の駅の家賃収入の収受方法の改善指摘については。

**答弁** 条例により認められていた。改正も視野に入れ改善したい。

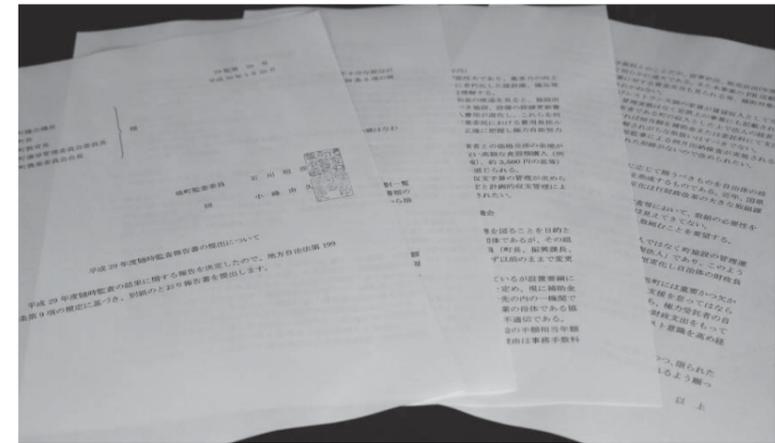
**質問** 何故、道の駅でも内部監査に依る例月出納監査が必要なのか。

**答弁** (監査委員) 湯遊

ランドでも行っており、道の駅は会計監査が不透明であり必要である。

**質問** 町長はこの指摘をどのように考えるのか。

**答弁** 4月から毎月一回湯遊ランドと共に道の駅も例月監査を行っている。



随時監査報告書

観光大使で町の観光力アップしては思いは同じ。ぜひ検討したい

**質問** 町観光協会はまだまだ力不足である。観光大使に「ナイツ」の埴宣之(はなわのぶゆき)さんをお願いして、町の観光力をアップしてはどうか。

**答弁** 私も思いは同じである。ぜひ検討したい。

**質問** 樹齢400年、幹まわり6メートルの那倉の桜を守り観光化する考えはないか。

**答弁** 私も現地に行っている。地元区の要望もある。町直接ではなく地域の取り組みに協力したい。

**質問** 合わせて進入道路の整備も出来ないか。

**答弁** 森林環境交付金を使ってはどうか。また林業専用道路(施業面積10ヘクタール、延長500メートル以上、土地無償提供)という考え方もある。



よしだ かつのり 吉田 克則 議員

町の考えを問う

## 町長施政方針の実行は 努力を重ねた結果

**【質問】** 平成30年度施政方針で事務事業の見直しと経費の節減、運用の合理化を確実に実行するよう予算編成に努めたところが、具体的にどのような予算編成をしたのか。

**【答弁】** 事業内容が各課で違うので、それぞれ取り組みをやって欲しい投げかけをした。努力を重ねた結果として経費削減した予算になった。

**【質問】** 抜本的な行政改革を進めるとしているが進捗状況は

**【答弁】** 12月までには一定の内容公開をしたい。

梅雨があがると暑い夏に・・・  
実りの秋に 光陰矢のごとしか。

町の考えを問う

## 充実した学童保育施設の計画は こども園(仮称)開園後、埴保育園を検討



ななみや ひろき 七宮 広樹 議員

**【質問】** 埴の学童保育では102名の利用に対し、2つの教室を使用しているが、教室が足りないのではないのか。

**【答弁】** 雨天時には活動の場所が限定され、教室が足りない状況になっている。

**【質問】** 年々学童保育を利用する児童が増えていくが、町ではどのように捉えているのか。

**【答弁】** 総合的に見て増加傾向にあると考えている。

モンベル (mont・bell) とは、業界トップクラスのアウトドア・ブランド企業。豊かな自然をもつ自治体に対し、独自の審査で認定証を与え、アウトドアを通して、地域活性化を図りさまざまな事業を展開しています。

**【質問】** はなわこども園(仮称)の開園後、埴幼稚園や埴保育園を学童保育施設としての考えは。

**【答弁】** はなわこども園(仮称)開園に伴う幼稚園の空き教室を、学童保育施設の活用を視野に入れ検討していきたい。

※放課後児童クラブ(通称)学童保育  
※学童保育とは、両親が勤めに出ている学童を、放課後、保護者に代わって保育すること。



放課後児童クラブの様子

**旧常豊小学校の活用は、県立支援学校に活用案の一つとして、検討したい**

**【質問】** 旧常豊小学校を活用し、県立支援学校を誘致すべきでは。

**【答弁】** 県の全体計画等もあるが、注視しながら郡内関係町村と話し合いの中で検討したい。

**【質問】** 県立支援学校を誘致することで、郡内の通学生徒の利便性と住み慣れた地域で学ぶ教育が、県教育委員会

の方向性と一致し、県を絡めた活用が堅実だと考えるが。

**【答弁】** 児童・生徒にとっては通学時間の短縮、また保護者にとっても利便性が向上すると考える。

県の整備指針や整備計画等を含めて、方向性を考えていきたい。

大町コミュニティセンターを商店街の活性化に  
年内に使用できる方向で進めている

**【質問】** 福島交通・埴駅前停留所「はなわバス待合所」にある「大町コミュニティセンター」を商店街の活性化につなげては。

**【答弁】** 年内に使用できる方向で進めている。

**交流人口増には、違った視点で取り組むべき**

**モンベル「フレンドタウン」大変興味深い**

**【質問】** 埴町の魅力を今後どのようにPRし、交流人口を増やすのか。

**【答弁】** まだ気づかない観光スポットや文化財等があり、新しい方向性を視野に入れ取り組んでいく。

**【質問】** モンベルは、地域の情報を64万人の会員に提供する。全国に埴町をPRするツ

**【答弁】** モンベルの代表者と早々にお会いする機会があり、大変興味深く見ている。交流人口を増やす為にも、モンベルフレンドタウンの実現に向けて進めていきたい。

## 施設・跡地の財産管理は 通常利用可能状態を保持

**【質問】** 常豊小学校閉校施設・跡地の財産管理は。

**【答弁】** 週一回程度、埴小学校の用務員が出向いて維持管理をしている。校内の施設管理、植栽の管理、校庭の除草等を行っている。財産の保全と通常の利用可能状態を保持している。

**【質問】** 平成4年新校舎落成しているが起債の状況は

**【答弁】** 平成30年3月で完済。

**【質問】** 常豊小学校、幼稚園の閉校・閉園式にあたり町はどのような関わり方をしたのか。

**【答弁】** 事務の増加に対応するため臨時の事務職員1名を配置。閉校記念誌、記念品等の財政支援を行っている。

### 収納施策の考えは

**滞納が減った**

**【質問】** 納税組合の解散、前納報奨金の廃止をした。収納施策の考えは。

**【答弁】** 担当課から人を増やして欲しい要請があり、その結果として滞納が減って成果を上げた。

**町らしい対応をしたい**

**【質問】** 原子力規制委員会は、避難区域外にある放射線監視装置(モニタリングポスト)を大幅に撤去することを決めたが町の対応は。

**【答弁】** 国が決める事であり尊重しつつも、郡内町村と協議しながらこの町、この地域らしい対応はしていきたい。

### 管理職人事の重要視は

#### 適材適所配置

**【質問】** 町長の管理職人事で最も重要視していることは何か。

**【答弁】** 部下の管理能力、部下育成、リーダーシップ、開発能力、問題解決能力。適材適所で人事配置した。



モニタリングポスト可搬型



リアルタイム型

一般質問

一般質問



こうえん ひかる  
高縁 光 議員

町予算が減少する中で、  
庶民本位の予算を願う。

町の考えを問う

## 入札参加名簿の改定は 平成31年度へ向けて委員会を設置した

**質問** 入札参加資格について、業者名簿作成などの検討がなされたか。建築法違反が問われているがどのように改善が図られたか。  
**答弁** 平成29年度は各課から職員を選抜き、入札制度見直しプロジェクトチームを作り、平成30年度は埴町工事指名委員会を設置した。現在指名入札参加資格について、名簿は平成29年度版を使用しており、平成31年度にむけて登録方法を検討している。

町の考えを問う

## 埴町立小、中学校の不登校の実態は 少しずつではあるが解消されている



しもじゅう よしと  
下重 義人 議員

実行あるのみ!!

**質問** 埴町立埴小学校、埴原小学校、埴中学校の不登校の実態は。  
**答弁** 平成28年度までは、不登校の生徒が年々増加傾向であったが、町教育委員会、各小学校の取り組みの成果があり、少しずつであるが解消されている。  
**質問** 不登校の兆候が出やすい大型連休明けや夏休み後の適切な指導は行っているのか。  
**答弁** 未然防止に努めるとともに、教育相談の実施や電話連絡等などの対策を行っている。

**質問** 子供の受け皿となる学習支援センター（適応指導教室）の設置は。  
**答弁** 町では、「あすなる教室」と称して、教育指導員が不登校生徒の学習支援や連絡相談を行っている。



町の公用車

**指定緊急避難場所を把握しているのか**  
**災害マップで周知しているのか**  
**質問** 地域住民は避難場所を把握しているのか。  
**答弁** 平成22年に作成した災害マップを全戸配布によって周知した。今後避難場所看板設置工事を予定している。  
**質問** 避難場所及び福祉避難所に埴厚生病院を活用できないか。  
**答弁** 平成22年に作成した災害マップを全戸配布によって周知した。今後避難場所看板設置工事を予定している。  
**質問** 避難場所の安全性及び良好な生活環境は確保されているのか。  
**答弁** 福島県が避難箇所の上石流調査を行っているが、それによって避難所の変更もあり得る。

## 公用車の安全対策は 日常の点検は乗車前に実施

**質問** 公用車の事故等などの安全対策は。  
**答弁** 日常の点検は使用者が乗車前に行い、不具合等があった場合は総務課が対応している。  
**質問** 事故時の対応及び発生状況は。  
**答弁** 過去5年間で計11件。いずれも軽微な破損である。対応は、埴町交通事故処理対策委員会で調査及び審議している。  
**質問** 今後、ドライブレコーダーを取り付ける考えは。  
**答弁** 正確な状況が把握できるので、経費等を考慮し前向きに検討したい。

## 高齢者向けのリフォーム補助は 一定要件の下、補助を受けられる

**質問** 高齢者にやさしい住まいづくり助成事業について伺う。  
**答弁** 平成29年度で県からの補助事業が終了したことから、財源確保ができないことから埴町環境リフォーム補助事業も同年度末に終了した。代わりに高齢者にやさしい住まいづくり助成事業は、家族の中で60歳以上が定住する住宅で、一定の条件を満たせば最大18万円補助を受けることができるとしている。

## 各地域のゴミ収集施設整備は 各地域住民の対応となる



町内のゴミ置き場

**質問** ゴミ収集における各地域の収集施設を計画的に増設すべきではないか。また設置の規定はどのようになっているのか。  
**答弁** 現在、ゴミ収集施設がある場所は、その地域で住民の方が対応している。ゴミ収集については場所の指定で、収集施設の規定はしていない。

一般質問

一般質問

# ひとこせインタビュー

6月定例会の傍聴者数はのべ26人でした。傍聴された方の中からインタビューを実施し、感想や意見をいただきました。



## 埴町が抱えている課題に、もっと危機感を持とう



あんざい 安齋 たもつ 保さん(川上)

傍聴したきっかけは、今、埴町が直面している問題は何か。町民として関心を持たなければならぬ。傍聴された感想はどうでしたか。それから東京に住む弟に、埴町の姿を見てもらいたいと思った。

この議会傍聴が良い機会になのではないか。議会に対する意見、要望はありますか。質疑に立った議員は、その内容についての資料や情報などをよく収集するなど、努力の跡が見られ意見も明確に述べられていた。答える町側は具体的かつ納得させるものではないか。長時間にわたる質疑応答なのだから、終了時には他の議員の拍手くらいの反応は欲しい。

議論が成り立つようにしなければならぬ。議員が自説を述べたり、行政の計画を批判したりする一方、それに応答する町側も譲歩や修正をしながら、合意点(結論)に到達するべきではないか。埴町はこれでいいのか、町民みんなで考えよう。特に役場職員は率先して考え、実践しなければならぬ。

町の考えを問う

## 町財政が悪ければ、報酬を下げるべき

### 給与減は考えていない



あおと 青砥 ようぞう 與蔵 議員

こうしやくせい 綱紀肅正 断じて行えば、鬼神も之を避く

質問 経常収支比率が高いのは、特別職・幹部職員・議員の責任であり、昨年度の93%から改善したとはいえず、未だに支出に余裕のない状況からも、報酬を下げるべきと考える。

答弁 給与は生活費と直結しているので、現状では考えていない。行政側の気構え、心構え、やる気等の改善から取り組みたい。

### 行政改革は

#### 今後検討

質問 システム管理委託費は大きな支出であり、IT系職員を確保するか大学の協力で今後対応すべきではないか。

答弁 膨大に出しすぎているので検討する。

### 湯遊ランド管理は

#### 安定した経営をする

質問 指定管理会社「埴町振興公社」に対する家賃の無料化・維持費負担は、町のお荷物ではないか。

答弁 二千万円の入湯税が町に納付されているが、今後さらに安定した経営を行っていくような施策を展開していく。

### 介護施設は

#### 企画検討に入る

質問 多くの町民が町長公約の介護施設建設を期待しています。建設時期はいつ頃か。

答弁 こども園・若者定住促進が終われば、企画検討に入る。



新調したテーブルセット(湯遊ランド)

### 過去の一般質問からの再質問

質問 稲作被害を生むカメムシのふ化は5月6月で、7月の河川草刈りは田んぼに虫を追い立てる行為である。何か対策はないのか。

答弁 カメムシ被害は、多くの要因があり、飼料米生産による事が大きい。今度検討していきたい。

質問 猪駆除対策は、猟友会その他、農家による第二の駆除隊を新設すべき。

答弁 鳥獣保護法の枠組みで検討していきたい。

# 委員会レポート

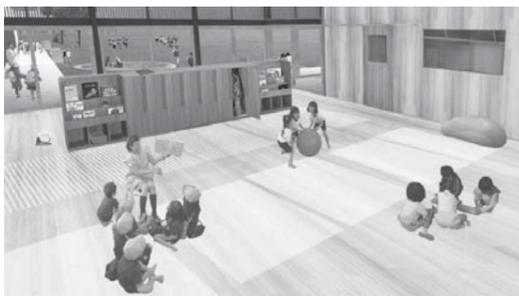
## 総務常任委員会報告

### はなわこども園（仮称）に関する諸課題について

- 日時 平成30年5月16日(水)
  - 場所 委員会室
  - 出席委員 鈴木安次委員長  
ほか委員全員（計：7名）
  - 調査まとめ
- ①めだか保育室の現状について西郷園長先生から聞き取り調査を行い、預かっている子供たちが全員こども園に入園でき、勤務している先生全員が就職出来る事を希望しており、町としては両方の受け入れについて配慮すべき事案である。
- ②はなわこども園（仮称）開園は平成32年4月を予定しているが、老人とのふれあいの場や、待機児童、入札の方法（一括発注か分離発注）など課題が山積している。今後の建設工事を行うにあたって、

教育委員会及びまち整備課は密に連携し事業を進めてもらいたい。

③すぎのこ園に通っている子供たち（現在10名）は、はなわこども園（仮称）への受け入れをこれから検討するとの事だったが、仮にすぎのこ園だけが埴幼稚園に取り残される事態になれば問題である。



はなわこども園（仮称）2歳児室イメージ

## 経済常任委員会報告

### 埴町商工会補助金の使途内容調査

- 日時 平成30年5月16日(水)
  - 場所 委員会室
  - 出席委員 鈴木 茂委員長  
ほか委員全員（計：7名）
  - 調査まとめ
- 埴町商工会補助金等の使途内容について、担当課から聞き取り調査を行った。内容は、商工振興活動事業補助金、埴町中心市街地活性化事業補助金、そして地域消費喚起生活支援型（プレミアム商品券発行事業）補助金について詳細と、所属会員数、各部会及び役員、各委員会及び活動内容に

についても説明を受けた。

次に質疑に入り、家屋費の具体的内容や、会員数の増減、年会費の額などが質問され、また商工会青年部が行っている婚活事業の成果についてであった。

- 最後に意見交換となり以下の点が出された。
- ①各事業が毎年同じメニューで慣例的にやることに疑問がある。
  - ②新たな自主財源確保（農産物や物産品の道の駅などで売る）を町が指導すべき。
  - ③抜本的な意識改革が必要ではないか。

まとめとして、今後補助金の支出額を見直す時期が来るものと思われる。その時に一律カットとするのか、監査委員の指摘のように必要性、公益性、妥当性などを鑑みメリハリをつけたものとするのか、課題になるとと思われる。



# 旧常豊小跡地の一部を町の体育施設として活用へ

## 採決結果

議案第38号 埴町体育施設の設置及び 管理に関する条例改正	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥與藏	高縁光	吉田克則	鈴木茂	鈴木安次	小峰由久	割貝寿一	小林達信	藤田一男	鈴木孝則	大縄武夫
原案可決（賛成9：反対3）	●	○	○	○	欠	●	○	●	○	○	○	○	○	—

○：賛成、●：反対、欠：当日欠席 ※なお議長（大縄武夫）は採決に加わらない

# 5月 臨時会の あらまし

平成30年5月30日に第3回臨時会（会期1日間）が午前10時より開会されました。町長専決4件と議案2件の審議と、2件の報告を受けました。

## 埴町体育施設の設置及び管理に関する条例改正



**（賛成討論）**  
藤田一男議員

常豊地区及び町内の方から早く利用したいとの声が数多く聞かれ、素早い町の対応に賛同する。



**（反対討論）**  
吉田克則議員

施設及び跡地利用の方針、具体的な全体像が見えないなかでの条例改正は時期尚早。



**（賛成討論）**  
吉田広明議員

常豊地区の老人会の方々の要請であり、早急に対応していただいた内容。継続的な事業計画となるような跡地利用を計画してもらいたい。



**（反対討論）**  
鈴木安次議員

利活用検討委員会の内容を説明される事なく、今回条例改正に進むことは議会軽視で、跡地の全体像が示される前では認められない。

### ～埴町学校施設等利活用検討委員会答申～

- ◎旧常豊小学校及び幼稚園について
    - ・小学校舎は当面の間集会施設として町が管理していく事が望ましい
    - ・体育館及び校庭は町が体育施設として管理していく事が望ましい
    - ・幼稚園舎は取り壊し駐車場にする事が望ましい
    - ・プールについては代替施設として防火水槽にする事が望ましい
- （平成30年5月22日付け埴町教育委員会へ提出）

未広町内の、子育て若者定住促進住宅団地造成工事に着手する。すでに取得済みの用地に22戸の宅地造成（1区画あたり220㎡、約66坪）と町道末広町1号線を整備する。

**契約金額**  
1億2492万1440円

**契約方法**  
条件付一般競争入札（4社入札参加）

**契約の相手方**  
深谷建設株  
代表取締役 深谷 佳孝

**Q** 予定価格、落札率はどうか。  
**A** 予定価格1億4999万6880円。落札率は88.3%。

**Q** 盛土が必要であると聞いたが、どこから持ってくるのか。  
**A** 1万4000㎡必要である。その7割は国道289号線改良工事現場の残土を利用する。

**Q** 土質調査の結果からも使用可能である。  
**A** （全員賛成で可決）

この他に、町長が平成30年3月31日付けで行った専決処分4件（平成29年度予算関連2件、税条例改正2件）を全会一致で承認し、可決されました。

## 工事請負契約

# 議会の動き

## 議会だより関連の視察 2 件を受け入れ



山元町議会(上) 尾花沢市議会(下)

5月15日(火)に宮城県山元町議会、17日(木)に山形県尾花沢市議会が議会広報関連の視察研修に来町されました。主な研修内容は、編集に対する常任委員や事務局の関わり方や、写真などのレイアウト、委員会の開催頻度などの手法を説明し、委員間同士での意見交換を行いました。研修に際し、持参いただいた過去の議会だよりを見ると、埴町でも参考になるページが数多くあり、今後の編集活動の参考になりました。

### 議会活動出欠状況

平成30年4月1日～6月30日

年月日	会議名称	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥興藏	高緑光	吉田克則	鈴木茂	鈴木安次	小峰由久	割貝寿一	小林達信	藤田一男	鈴木孝則	大縄武夫
30.4.5	総務常任委員会	—	—	—	○	○	○	—	○	○	—	私用	—	—	○
30.4.5	経済常任委員会	○	○	○	—	—	—	○	—	—	○	—	○	○	—
30.4.5	議会運営委員会	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	私用	—	○	○
30.4.5	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	私用	○	○	○
30.4.5	広報常任委員会	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—
30.4.11	広報常任委員会	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—
30.4.16	広報常任委員会	鞆	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—
30.4.25	福島県立埴工業高等学校の存続に関する調査特別委員会	○	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—
30.5.15	宮城県山元町議会視察(議会広報関係)	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	○
30.5.16	経済常任委員会	○	○	○	—	—	—	○	—	—	○	—	○	○	—
30.5.16	総務常任委員会	—	—	—	○	○	○	—	○	○	—	○	—	—	○
30.5.17	山形県尾花沢市議会視察(議会広報関係)	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	○
30.5.23	議会だよりモニター委嘱及び会議	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	○
30.5.30	議会運営委員会	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	○	—	○	○
30.5.30	5月臨時議会	○	○	○	○	私用	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30.5.30	議員定数等検討協議会	○	—	—	—	—	○	○	○	—	○	—	—	○	○
30.5.30	全員協議会	○	○	○	○	私用	○	○	○	○	○	○	私用	○	○
30.5.30	議会運営委員会	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	○	—	○	○
30.6.5	全員協議会	○	○	○	遅参	○	○	○	○	○	○	遅参	○	○	○
30.6.7-11	6月定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30.6.11	議会運営委員会	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	○	—	○	○
30.6.27	広報常任委員会	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—

○出席 - 該当外

議員は会議に出席する義務があり、正当な理由がなく欠席すると罰せられることがあります。議会では欠席の正当な理由として、配偶者・親族の葬儀(忌引)、病気・けが(傷病)、突発的事故(事故)、その他議長が認める場合です。表ではそれぞれ、忌引、傷病、事故、その他と表記し、それ以外の正当な理由外の欠席の場合は私用と表記しました。



### ●平成29年6月定例会

#### 質問

住宅リフォーム助成制度問題について、助成限度額が1件10万円から20万円に引き上げできないか。



#### 答弁

限度額増額は、平成29年度はすでに助成を行っているため実施できない。  
平成30年度以降対応が可能か検討する。



#### その後

住まいる環境リフォーム補助金が廃止になり、高齢者にやさしい住まいづくり助成事業に変わる。



### あの質問はどうなったのか?

議員の一般質問の中からピックアップし、その動き・現在の状況を調査します。

### ●平成28年9月定例会

#### 質問

PCやインターネットを活用し、コンビニにおける各種証明書の交付、税金の収納代行など、町民の行政手続きの利便性向上につながるよう業務方法の見直しを提案します。



#### 答弁

各課窓口対応を東白川郡内3町村行っている。埴町もどの課にも直接行ける利便性向上を考えたレイアウトを検討したい。



#### その後

本庁舎1階に町民課と健康福祉課の2課とし、総務課を移動する。  
配置換えによる問題が解決出来次第、お示ししたい。



現在の役場1階のようす



委嘱状交付



モニター会議のようす

平成30年5月23日（水）午後6時から議会だよりモニター委嘱式を行い、町内在住の7名の方へ委嘱しました。平成31年3月末までの任期中、議会だよりや議会広報活動への意見をいただきます。委嘱状を交付した議長からも、より良い議会運営や議会だよりの紙面づくりに期待していると挨拶し、その後開催されたモニター会議では、常任委員とモニターさんとの間で活発な意見交換が行われました。

# 議会だよりモニター委嘱

## 平成30年度 議会だよりモニター

生方 恵美さん（台宿）	齊藤 直子さん（西河内）
遠藤 勢子さん（板庭）	佐藤 紀代美さん（塙）
菊地 哲也さん（植田）	鈴木 正志さん（山形）
齊藤 修一さん（塙）	



## 私もひとこと

委嘱されたモニターさん1人に議会だよりについてご意見をいただきました。



さいとう しゅういち  
齊藤 修一さん（塙）

議会だよりモニターになり、改めて議会だよりを熟読しました。今の塙町の現状が分かりやすく書かれていて、開かれた議会を目指

している感じが感じられます。同時に、塙町が今後発展するためにはどのような課題を抱えていると思います。このモニターという仕事を通して議会や町政に関心をもち、もっと暮らしやすく、住民にやさしい町づくりに少しでも貢献したいと思います。

### 町民にやさしい町づくりを

## 議会だよりモニターさんの声

- ・写真が多く配置されて見やすい紙面になっている。
- ・一般質問ページの質疑応答が噛み合っていない。
- ・気になる一般質問内容の検索に時間がかかる。
- ・追跡レポートに注釈を付けるとわかりやすいのでは。
- ・見出しと本文中の名称等が一致しない点があった。
- ・予算のページに科目の解説があると良い。
- ・文字の量が多いと読みにくい。



# 議員定数等アンケート実施結果

～議員定数「多い」が約7割～

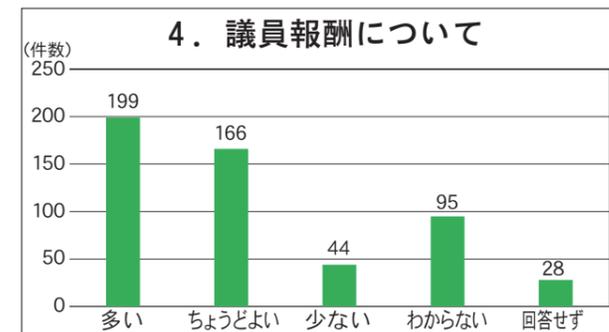
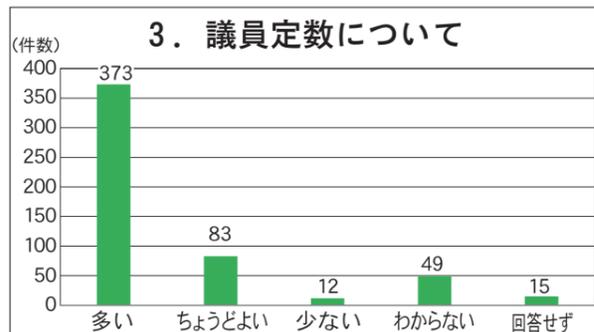
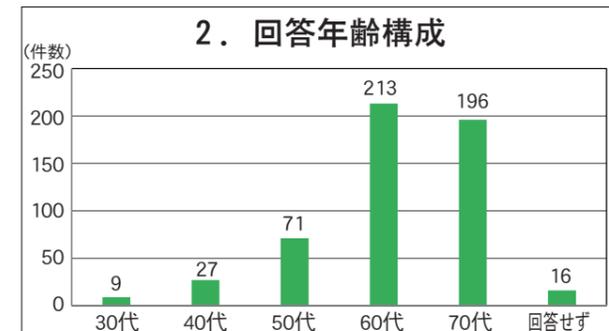
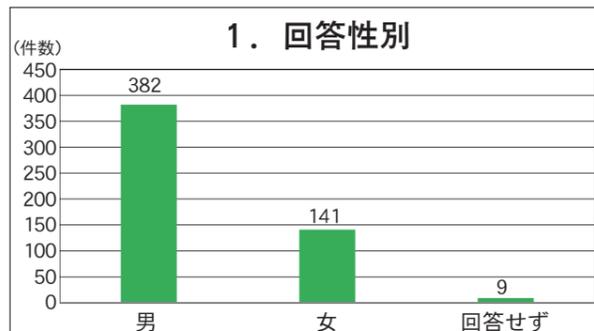
### ◆ 調査概要 ◆

1 調査地域	塙町内全域
2 調査対象	町内全世帯
3 調査票配布	各行政区長経由による配布
4 調査対象期間	平成30年1月26日～2月28日

### ◎ アンケート回答状況 ◎

塙町内全世帯(平成30年1月9日現在)	2853 世帯
回答件数	532 件
回答率	18.65 %

平成30年1月から2月末にかけて、全世帯を対象とした議員定数等に関するアンケートを実施し、締切までに532件の回答がありました。その結果、回答の約7割は現在の議員定数は「多い」、また報酬については約4割が「多い」となりました。



### <ご意見>

- ・町の財政に見合った定数
- ・少数精鋭で真剣な取り組みが期待できる
- ・少ないと少数意見が反映されない
- ・これ以上少ないと執行機関へのチェック機能が不十分

### <ご意見>

- ・議員活動の質に対して多い
- ・町財政全体から考えて多い
- ・報酬減により候補者不足となり人材が低下する
- ・安い報酬でも仕事ができる議員であってほしい

### <議員定数等検討協議会より>

この度の議員定数等に関するアンケートに対し、多くの町民の方にご回答をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。当協議会は、塙町議会基本条例に基づき定数と報酬を見直すべく、皆様からいただいた貴重なご意見に耳を傾け、議員間で議論を重ねて意見集約をし、塙町議会にとって必要かつ適正な定数と報酬を決定したいと思います。



皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：久慈川サイクリングロード愛好会  
 活動場所：久慈川サイクリングロードなど  
 会長：海野芳洋（埜町） TEL：43-7082  
 副代表：小室雅喜（矢祭町）

### 久慈川サイクリングロードを自転車で行こう!!

久慈川サイクリングロード愛好会は、ロードバイクなどの様々な種類の自転車でサイクリングをしている6名ほどの小さな団体です。

普段は久慈川サイクリングロードを拠点に走っています。時には県外などへ遠征したり、各種イベント等に参加したりしています。

「みんなで自転車を楽しむ」がモットーなので、初心者でも無理のない速度で走り、また、自転車に興味のある方がいればスポーツバイクやヘル

メット等の貸し出しも行うなど、一人でも多くの人にスポーツバイクの楽しさを広められるよう日々努めています。

サイクリングロードの整備活動も行っており、多くのサイクリストに安全に走ってもらえるよう、通行を阻害している枝葉の刈払いや土砂掃きなども実施しています。

自転車に興味のある方ならどなたでも参加できますので、ぜひお声かけください。



楽しくマイペースで自転車を楽しんでいます



ボランティア作業（柳町公園）

#### 【お詫びと訂正】

前回の議会だよりNo.142号（発行日：平成30年4月20日）の「みんないきいき（28ページ）」の記事で、一部脱字がありました。正しくは「箏曲教授師範 宮崎 歌尊」先生です。お詫びして訂正いたします。

#### 編集後記

読者の皆様、いかがお過ごしでしょうか。お越しでしょうか。私たちが広報常任委員会も、平成30年度から2名の議員が入れ替わり、先日委嘱を受けた議会だよりモニターさんも3名が新任と、新しい体制となりました。

これを機にモニターさんのご意見を参考に、より良い議会だよりになるよう、努めて参りたいと思います。

### あなたも議会を傍聴してみませんか

平成30年9月定例会は、9月6日(木)からの予定です。

●場所 役場2階 議場●  
(※氏名記入などの簡単な手続きで傍聴できます。)

この時期暑い日が続いています。水分をとって熱中症にならないよう気をつけてお過ごしください。

下重 義人

#### 広報常任委員会

- 委員長 吉田 克則
- 副委員長 下重 義人
- 委員 高緑 光
- 委員 青砥 與藏
- 委員 吉田 広明
- 委員 七宮 広樹